

WAKABA

令和5年9月22日発行 文責：長田、山口

小学部・中学部 授業体験会

小学部の授業体験会は8月23日(水)に実施し、年長幼児19名、保護者・関係者29名の参加がありました。自由遊びの後、朝の会や音楽を体験しました。参加された保護者の方からは、「学校生活の様子や先生の雰囲気を見ることで良かった。」「普段の授業の様子が体験できて良かった。」などの感想をいただきました。

中学部の授業体験会は8月1日(火)に実施し、小学6年生3名、保護者・関係者8名の参加がありました。朝の会、美術「飾り箱づくり」を体験しました。参加された保護者の方からは、「校内の雰囲気や、活動内容も写真を通して知ることができて良かった。」などの感想をいただきました。

教えて！
わかばちゃん

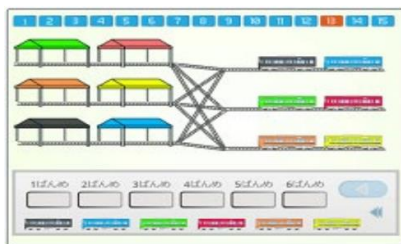
特別支援学校での ICT の活用例

すべての子どもは、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利があります。障害のある子ども一人一人の教育的ニーズに合わせた適切な教材等を活用することで、さまざまな困難を取り除いたり、減らしたりすることができます。ICT の活用はそうした子どもたちの可能性を広げる機器として、また、これからのインクルーシブ教育システム推進において合理的配慮を進めるために大きな役割を果たすことができると考えられています。

ICT の役割は分かったけど、実際にはどう活用していけばいいのかな？

いくつか、事例を紹介します。どんなことで悩んでいますか？

「算数」で集合数や順序数の概念のように、抽象的な事柄や、理解が難しい事柄はどうやって伝えたらいいのかな？



例 1) 集合数等、概念理解の支援



例 2) やることと時間を意識させる支援

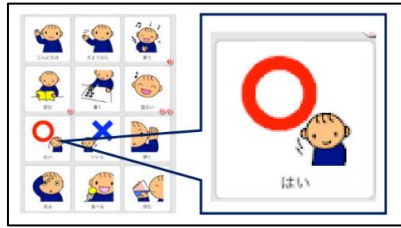


例 1) のように、学んでいる内容を『視覚的に示す』ことで、子どもたちの「分かった」に繋がることがあります。例 2) はわかば支援学校での実践例です。PowerPoint で作成したアプリです。朝の身支度では“やること”と“残り時間”がタブレットの画面に表示されるようになっています。このツールを活用したことで、自分の力で朝の身支度に取り組むことができるようになってきました。既存のアプリだけでなく、子どものニーズに合わせたアプリを使用することも効果的かもしれません。

なるほど。言葉で説明することが難しいことでも、視覚的に示すとわかりやすくなるかもしれないね！



他にも、言葉による意思表示が難しい子どもへの、意思表示の代替手段(例3)として活用することもできます。わかば支援学校では、朝の会の次第の読み上げに使用している生徒もいます。タブレットに表示された次第のアイコンをタップすると音声が出ます。終わった内容は網掛けに変わり、「今何をしているのか」「次はなにをやるのか」が目で見分けることができました。コミュニケーションを支援してくれるアプリを使用しています。



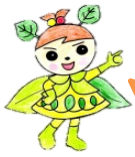
例3) 意思表示への支援



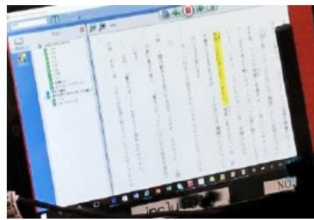
例4) わかば支援学校の実践



なるほど。発語や音読に難しさがある子どもにも、コミュニケーションツールの一つとして活用することができるね！文字を音読したり黙読したりすることに難しさを感じている子どもへの支援でも使うことができるのかな？



文字を音(オン)に変換することが難しく、音読や黙読が苦手な子どもには、読み上げ機能を活用することで内容理解の支援(例5)ができます。また、文字や図形をバランス良く書いたり、思考をまとめて構成したりすることが苦手な子どもへの支援(例6)にも役立ちます。



例5) 読み上げ機能や書き込み機能の活用



例6) プレゼンテーションツールの活用



いくつか事例を紹介しましたが、ICT機器は教材・教具や学習ツールの一つです。ICT機器を使うことが目的になってはいけませんね。『関わる子どもの興味・関心や段階に合わせて使うこと』が大切です。上手に活用することで、学習効果を高めたり情報活用能力の育成を図ったりすることができます。学習上または生活上の困難さを改善したり克服したりすることが可能です。詳しくは、文部科学省のホームページの「各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する解説動画」などを参照してみてください。

ありがとう。ICT機器を活用することで、子どもたちの学びの可能性が広がるね！子どもの様子や学校の実情に応じて、よりよい活用を検討してみるよ！



★本校への就学、進学、受験を検討されている方は、教育相談を受けていただくことになっています。学校に関わる個別の質問にお答えしたり、お子さんの詳しい状況についてお聞きしたりしています。本校に就学等した場合のスムーズな移行につなげられるようにしたいと考えています。教育相談を受けるにあたっては、本校担当者まで事前に電話連絡をお願いします。日程調整を行います。(年長児につきましては保護者から、小学6年生、中学3年生につきましては、学校の先生を通じてご連絡ください。)相互理解のため、ぜひ教育相談をご活用ください。

山梨県立わかば支援学校

〒400-0226 南アルプス市有野3346-3

TEL:055-285-1750

FAX:055-285-5827

担当:インクル推進部(五味 優紀 江上 桐子 鮫田 直子 濱田 結衣)

【URL】 <http://www.wakabay.kai.ed.jp/>

【E-Mail】 wakaba-yg@kai.ed.jp

受付時間

月・金 13:30~17:00 火・水・木 9:30~17:00

